2018 フロリダ遠征

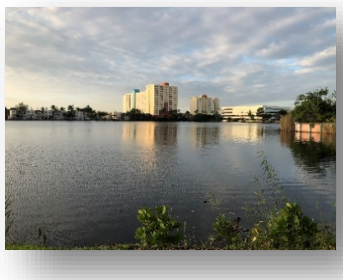
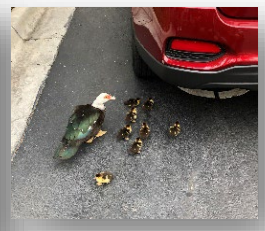
遠征期間 ：2018年　12月4日（火）～12月17日（月）

12月4日（火）
出発
成田空港・マイアミ空港

各選手期待と不安を持ちながら日本を飛び立ち、いざマイアミへ
マイアミ空港に到着後、空港からホテルに移動。送迎バスで15分の道のりです。
テニスという同じスポーツで切磋琢磨する仲間同士打ち解け合い、すぐに仲良くなりました。

宿泊ホテル

宿泊ホテルに到着。ホテルにチェックインした後、夜が遅かったので就寝。
朝食、夕食はホテルのレストランで食べました。
遠征の昼食は、コーチ特製のお弁当でした。

12月5日（水）
12月8日（土）
12月15日（土）
対抗戦

1戦目はエクストリームテニスアカデミーとの対抗戦。初めて海外の選手と対戦でした。
2戦目はアルゼンチンチームと対抗戦。12歳以下女子のオレンジボウルの会場、ビルトモアです。
ハードコート9面での試合です。
3戦目はチャオテニスアカデミーとの対抗戦。男子と女子に分かれ行いました。
日本チームは毎日早朝から練習を行い、試合に臨みました。

キャスリー
トーナメント

オレンジボウルの本戦に選手が多数出場する大会です。
2日間で1トーナメントの大会でコンソレも行います。
今回遠征に参加した選手は素晴らしい成績を残しました。
小学校時代から外国人選手と試合が出来るのは凄く貴重な経験です。言葉の壁等関係ありません。
10歳以下男子3位、12歳以下女子準優勝、12歳以下女子優勝、14歳以下女子準優勝、16歳以下女子準優勝、
好成績を残しました。

オレンジボウル

12月9（日）～

前日にエントリーし明日の試合に備えました。
世界から集まったジュニア最高峰の選手達が集まるトーナメントです。
この中から未来の世界チャンピオンが誕生します。
同じ年代ですが体格、パワーが別格ですが、日本人選手も負けずに頑張りました。
期間中で負けた選手はキャスリートーナメントに参加しました。
12歳以下男子1名、女子1名予選を突破し本戦に見事出場しました。

BBQ
ショッピング
観光

楽しみにしていたBBQ。みんな沢山食べていました。
お土産を買いにウォルマートへ。なかなか決まらず大変でした。
マイアミオープンの会場やマイアミビーチも行き大はしゃぎ。

総　評

12/4(火）～12/17(月）の日程でアメリカ合衆国フロリダ州マイアミでの
「フロリダ遠征」に男子7名、女子8名が参加しました。
成田を出発し、アトランタ経由でマイアミに到着。
長時間のフライトで疲労感もありましたが、夜遅くに到着後次の日に備えました。
「外国人選手とたくさん練習する」、という目標にそってExtreme Tennis Academy アルゼンチンチーム
地元のCHOW Tennis Academyとかなりのマッチ練習を行いOrengeBowl、Caselyに臨みました。
本番のOrengeBowlでは男子4名、女子6名が出場しました。
男女共にレベルが高く、日本人選手達は数回のラリーで振られた時に徐々に軸がぶれ始めると同時に
強いスピン量のボールに、スイングスピードが追いつかず少し振り遅れ状態になってしまう状態になってしまう
状況でした。
スピンボールの当たりも薄くただこすりあげるだけのプレーに対し、外国人選手達は振られた時でも
軸がぶれず力強いボールの返球ができ、スピンボールの当たりも厚く伸びのあるボールで威力の違いを
見せつけられました。
そこで感じたのはやはり外国人選手の強靭な上半身・下半身の強さから繰り出されるボールが多く
日本人選手達も世界で戦う為にはテニスの技術は勿論ですが、強さ・速さを出していくにはもっともっと
フィジカルを鍛えていかなければ力を発揮出来ないと感じました。
フィジカルの強化は各体力レベルを上げ、競技に必要なスキルを身につける事につながりますが
一朝一夕では身につかないので毎日の積み重ねが必要だと痛感いたしました。
そういった努力が大きな差となっていくのではないかと思いました。
遠征中は引率コーチの手作りの食事や特製弁当等を食べ、怪我人が出ることもなく14日間頑張りました。
最終日にはBBQやショッピングをし遠征を終了しました。
今回の遠征を通じて世界のテニスを肌で感じ、異国の文化を学ぶ事が出来たと思います。
この遠征での貴重な経験をこれからの活動に活かして欲しいと思います。
このような機会を与えてくださった保護者の皆様、そして関係者各位の方々に心よりお礼申し上げます。

たちかわジュニアテニスアカデミー　　小清水　渉